

■ 秋田の風物画家

高橋 萬年

たかはし まんねん

出身地 秋田市

1897年（明治30年）～1956年（昭和31年）

16歳で上京、寺崎廣業てらさきこうぎょうに師事しじするが病氣きで帰郷ききやう。短期間ききやうに得た画技えがを基礎きそに精進しやうじんを続け、院展いんてんで活躍かつやくする。秋田あきたに長く住み、郷土きやうどの田園風俗ふうぞくを主題えがとした作品を多く描いた。いっぽうで地元画家の育成にも力を注いだ。



年譜

- 1897年 秋田市に生まれる。本名・計治けいじ。
- 1912年 明德尋常高等小学校卒業めいとくじんじやう。
- 1913年 上京。寺崎廣業てらさきこうぎょうに師事しじ。
- 1923年 第10回院展いんてんに「新月橋の雨」が初入選。
- 1937年 秋田市に住む。
- 1945年 日本美術院小品展覧会てんらんかいで「雄渾ゆうこん」が美術院賞。
- 1946年 院展いんてんに「野山柴むかんさ」無鑑査出品。
- 1956年 秋田市で没ぼつ。58歳さい。